

海外ロングステイの魅力

(マレーシアMM2H申請から現在まで)

2016.6.24

西村康裕

目次

1. 基本的な動機
2. 海外ロングステイへの道
3. 最終マレーシアを選んだ理由
4. MM2Hの申請手続きと承認
5. 海外ロングステイの魅力
6. まとめと課題

基本的な動機

1. 友人との出会いが契機(2011年 57歳の時)
2. 寒い冬と蒸し暑い日本は避けたい
温かい南の国で過ごしたい cf地震は怖い
3. 「ご褒美人生」という考え方＝「余生」
 - ① 「見知らぬ世界、自然の素晴らしさ、世界遺産」など
 - ② 老後は「人・旅・本」を実践してみたい
 - ③ 海外生活への関心。異文化への関心

海外ロングステイへの道

1. ロングステイ財団の人気統計データ

最近の人気ベスト3は①マレーシア②タイ③ハワイ(2015.5.26現在)
マレーシア以外は訪問せず(バンコク、台北、ベトナム旅行経験済み)

2. 第1回事前調査(2012.2 7日間の観光旅行)

- ① マレーシア(ペナンとクアラルンプール)
- ② 旧友との再会(ペトロナスタワー近辺の高層マンション在住)

3. 第2回事前調査(2014.1 7日間の調査旅行)

- ① KL日本人会のセミナーに参加「ご褒美人生 DVD」に感動
- ② 新しい友人との出会い(絵画、音楽、料理、山登り、釣り、手工芸)
- ③ キャメロンハイランド: 軽井沢に似ている(標高1500mお茶とイチゴ)
- ④ レジデンシャルホテルは快適で格安

最終マレーシアを選んだ理由

いろいろな選択項目と優先順位

- ① 赤道直下で年間温かい(暑い)。雨季でもシャワーだけ(朝と夕方に多い)
- ② 巨大モールの発達(日系企業、イオンモール、伊勢丹、三井不動産など)
- ③ 地震のない地質構造(しかし台風はある?)
- ④ 安全衛生はほぼ大丈夫(医療と衛生管理万全。しかし近隣他国は?)
- ⑤ 物価はほぼ日本の1/2水準 (家賃10万円/月で150平米が普通?)
- ⑥ 長期滞在でも飽きない仕組み(リタイヤした老人多く日本人会の充実)
- ⑦ 多様性尊重の文化(マレー人60%と中国人20%とインド人10%など)
- ⑧ 国民の殆どが英語ができる。そして親日国(尊敬されている)
- ⑨ アセアン最大のLCCで格安で行ける(Air Asia 本社)
- ⑩ シンガポールまで3時間?(新幹線計画と道路整備が進む)
- ⑪ 治安は良い方

MM2Hの申請手続き

1. 申請方法はMM2HのHPが基本(参考情報多い)
基本条件は、①金融資産、②給与、③無犯罪、④健康状態、⑤パスポート
2. 申請方法は、代行業者方式と個人申請方式
代行業者に依頼すると約20万円弱の費用
3. 個人申請は相当面倒(3か月程度掛かった)
 - ① 申請書類作成(英文はグーグル翻訳が便利)
 - ② 金融資産残高と月給証明(英文)(注意:証券会社の資産残高書はダメ)
 - ③ 翻訳証明(戸籍謄本、給与証明) →有料
 - ④ 公証人証明(戸籍謄本とパスポート) →有料
 - ⑤ 無犯罪証明(地元県警本部に申請)
 - ⑥ 15万リンギの海外送金手続き(なかなか難儀なこと)
4. 仮承認通知書の受領(2015年4月➡本承認へ進む)

海外ロングステイの魅力(2016.6現在)

1. 異文化に接触し**知的刺激**がある。
2. 物価・天候・生活などで快適**(事前情報との乖離少ない)**
3. マレーシア国内巡りは尽きない
①キャメロンハイ②ペナン③マラッカ④ジョホール⑤サラワク州など
4. アセアン・アジア巡りは**格安航空で(ハブ空港)**
①カンボジア②ミャンマー③ベトナム④インドネシア⑤ラオス⑥シンガポール⑦インド・スリランカ⑧中国⑨韓国⑩台湾⑪トルコなど

まとめと今後の課題

1. 冬・夏に1か月滞在するのが当面の計画
 - ①現在の仕事 ②親の介護 ③子供との関係
(注意: マレーシアは3か月滞在まではビザ不要)
2. 老後の生き方追求・模索？
 - ①「林住期」(五木寛之著)の生き方がモデル
 - ② ご褒美人生という考え方(DVD参照)
 - A) 青春時代の願望(世界遺産探訪など)
 - B) 食いしん坊旅行 スポーツできる喜びなど
 - ③ 健康寿命との兼ね合い(60歳までの体力)
 - ④ 飽き症とのバランス(時間の楽しみ方の開拓)







